

兵庫県立 考古博物館 NEWS

Vol.26



Hyogo Prefectural
Museum of
Archaeology



2020 Autumn-Winter

2020年秋冬号

- ウィズ・コロナ時代の参加体験型博物館へ
- 特別展「兵庫ゆかりの武将たち—明智光秀とその時代—」
- 高田駅家推定地 辻ヶ内遺跡の発掘調査
- 大中遺跡で古代体験!! 大中探検隊

◆ ウィズ・コロナ時代の参加体験型博物館へ ◆

当館は新型コロナウイルスの感染を予防するため、3月から5月まで臨時休館を余儀なくされました。開催中であった企画展「ひょうごの遺跡 2020」は会期中での終了となり、4月から開催予定であった特別展「弥生時代って知ってる?」は準備が整わないため、開催延期となりました。また加西分館の企画展「美と微」についても大幅な会期の短縮となりました。せっかく準備を進めていた展覧会をみなさまにごらんいただけなくなったことが残念でなりません。

緊急事態宣言の解除に伴い6月2日より館を再開しましたが、感染予防のためハンズオン展示や古代体験、講演会など、当館の特徴である「参加体験型」のサービスについて大幅な制限を設けざるを得なくなりました。多くの方に来館いただき、「触れる・体感する」ことにより歴史への理解を深めていただくという当館のコンセプトへの影響は深刻なものとなっています。

このウイルスとの付き合いは長期化が避けられそうになく、新しい生活様式のもと感染防止に配慮しながらいかに社会活動を続けていくのが喫緊の課題となっています。博物館においても、新型コロナウイルスとの共存を前提とした新たな活動スタイルが求められています。当館も参加体験型博物館としての使命を果たすために、既に臨時休館中から、SNSによる情報発信、YouTubeによる動画配信など、新たな取り組みを始めています。

今回の新型コロナウイルスは人類にとって大きな試練となりましたが、我々の祖先たちはこれまでも様々な試練を乗り越えて新たなステップへと進んできました。当館もこれを機に、「ウィズ・コロナ時代」にふさわしい新たな参加体験型博物館へと進化できるよう、取り組みを進めてまいりますので、しばらくのご不便をお許しください。

【当館の感染防止対策】

- ・発熱、風邪症状等の体調不良の方の来館自粛
- ・サーモグラフィー等による入口での検温の実施
- ・手指消毒の徹底
- ・マスク着用の徹底
- ・連絡票記入もしくは追跡システムへの登録
- ・社会的距離の確保
- ・館内での会話をひかえる
- ・バリア等による飛沫感染の防止
- ・館内備品等、接触箇所の消毒
- ・ハンズオン展示の消毒
- ・講演会、体験講座の参加者削減及び事前予約の導入
- ・スタッフの体調管理の徹底



入口での誘導、消毒、検温



ハンズオン展示の消毒

特別展「兵庫ゆかりの武将たち-明智光秀とその時代-」

期間：令和2年10月10日(土)～11月29日(日)

京や大坂に近接する兵庫県域では、戦国から近世へと時代が移り変わるなかで、重要な戦いがくりひろげられました。このような戦国乱世の時代は、織田信長の登場によって、ようやく終止符が打たれようとしています。

兵庫県域でも“西国の雄”毛利氏を中心とする勢力との対決が迫るなかで、波多野秀治（丹波）、荒木村重（摂津）、別所長治（播磨）らは、信長に叛旗を翻すも敗れ去ります。しかし、その信長も家臣の明智光秀の謀反で本能寺に倒れ、後継者として地歩を固めた豊臣秀吉が天下統一を果たします。

その後、徳川家康が江戸に幕府を開き260年に及ぶ長期政権の基礎を確立するまで戦乱は続きました。

本展では、こうした戦国の世に県内各地で活躍した武将の肖像画や歴史資料・武具などを紹介するとともに、関連城跡から出土した考古資料などを展示します。

(学芸課 松井良祐)

【展示構成と主な出品資料】

プロローグー信長の登場ー

あまくなぎなた
天国長刀

(室町時代 銘：駿州嶋田住義助作
丹波市教育委員会蔵)

1 明智光秀と丹波攻略

明智光秀禁制〔実物展示期間10/10～11/4〕
(天正6年9月日付 円通寺蔵)

2 荒木村重と有岡・花熊城の攻防

池田恒興画像〔実物展示期間10/10～11/8〕
(17世紀前半

鳥取県立博物館蔵 鳥取県指定保護文化財)

3 別所長治と三木合戦

三木城跡・付城出土資料
(三木市教育委員会蔵)

4 本能寺の変から秀吉、家康へ

仙石秀久(せんごくひでひさ)画像

(江戸時代 豊岡市立歴史博物館―但馬国府・国分寺館―蔵)

エピローグー平和な世を求めて～春日局～

春日局(かすがのつばね)画像
(丹波市教育委員会蔵)



りんほうみつどもえもんらでんぐんじんくら
輪宝三巴文螺鈿軍陣鞍 (個人蔵)



本能寺跡出土焼瓦 鳥衾(とりぶすま)
(京都市蔵 京都市指定文化財)

【特別展関連 講演会・イベント】

問合せ TEL 079-437-5562 (学芸課)

講演会 要予約 当館講堂 13:30～15:00(12:30開場) 定員60名[無料]

10/17土	信長と光秀 高木叙子(滋賀県立安土城考古博物館学芸員)	申込期間 8/17月～10/2金
11/1日	荒木村重の実像に迫る 天野忠幸(天理大学文学部准教授)	申込期間 9/1火～10/17土
11/14土	天下統一への道―苦悩する秀吉― 鳥居和之(前名古屋市蓬左文庫長)	申込期間 9/14月～10/30金

イベント 要予約 当館講堂

11/15日	三木合戦軍図絵解き(三木市指定無形民俗文化財) 語り手：生田淳仁	申込期間 9/15火～10/30金
--------	-------------------------------------	----------------------

時間 ①13:30～②14:20～(各回30分程度) 定員 各回30名 料金 無料 対象 小学生以上

体験講座 要予約 当館体験学習室

11/21土	『天下布武』のメダルづくり	申込期間 9/21月～10/3土
--------	---------------	---------------------

時間 13:30～15:30 定員 20名 料金 1000円 対象 小学生以上

予約方法は当館HPでお知らせしています。
オンラインもしくは往復はがきでお申し込みください。

高田駅家推定地 辻ヶ内遺跡の発掘調査

辻ヶ内遺跡は上郡町南東部の盆地地形である高田地区の東端部に位置しています。当館が平成19年度に実施した兵庫県内全域の古代官道の分布調査で瓦を採集したことにより発見され、上郡町教育委員会により「辻ヶ内遺跡」と名付けられました。平安時代の法令集である『延喜式』には「高田」と呼ばれる駅家の存在が記されており、当地が古代山陽道の推定路線に南面すること、前後の駅家との距離が15里(約8km)であることや眺望の開けた場所に立地することから高田駅家の有力な候補地とされました。

平成19年度より継続する古代官道調査研究事業において辻ヶ内遺跡を取り上げることとなり、令和2年の2・3月に発掘調査を実施しました。調査に先立ち圃場整備前の空中写真を確認したところ、駅家の外郭線の痕跡と推定される水田区画を見つけることができたことから、外郭線の南辺と西辺と推定される箇所調査を行いました。

調査の結果、圃場整備前の水田区画の位置に、築地の基盤が残っており、築地の内側では瓦溜が見つかり

ました。

出土した大量の瓦のなかには、駅家であった遺跡から多く出土する古大内式の蓮華文軒丸瓦が含まれていました。



築地と瓦溜

辻ヶ内遺跡が築地で囲まれた施設であることが明らかになり、奈良時代に設置された古代山陽道の高田駅家



古大内式の軒丸瓦

であった可能性が高くなりました。今後、外郭線の範囲や内部に存在した建物について調査を進めたいと考えています。

(学芸課 池田征弘)

大中遺跡で古代探検!!

現在のところ、新型コロナウイルス感染症の影響により、室内で実施していた「まが玉づくり」や「組みひもづくり」、「火おこし体験」など古代体験プログラムの提供が難しい状況です。そこで屋外へ飛びだして、新しいプログラム「大中探検隊」を始めます。

このプログラムは博物館に隣接する播磨大中国古代の村を舞台に、探検隊マップを見ながら、大中遺跡の隅から隅までを探検し、設置されたチェックポイントを探してクイズに答えたり、古代体験をするものです。



所要時間は、最後の答え合わせと学芸員の解説を含めて約1時間です。植物や鳥などの自然に触れ

たり、弥生時代のムラの風景や広さを体感できたり、新たな発見があるかもしれません。

また、9月から実施する、「週末の古代体験」でも「大中探検隊」をご用意します。チェックポイントの



数を少なくし、どなたにでも短時間で気軽に体験していただけるようにしておりますので、ご家族やお友達と、クイズに挑戦してみてください。

(学習支援課 岡本一秀)



企画展

ひょうごの遺跡2021—調査研究速報—

令和3年 1月16日(土)～3月14日(日)

兵庫県が実施した発掘調査と出土品整理から、最新の調査成果を一堂に公開する展覧会。今回は令和元年度に刊行した発掘調査報告書に掲載した遺跡と令和2年度に発掘調査を実施した遺跡から選りすぐりの資料を展示します。

講演会 要予約

各回とも申込期間は2ヶ月前～15日前まで
(多数の場合は抽選)

兵庫考古学研究最前線2020		当館講堂[無料]定員60名 時間 13:30～15:00(12:30開場)
10/3土	祭祀遺跡研究の今—袴狭遺跡を中心に— 大平 茂(当館名誉学芸員)	※切 9/18
12/5土	古代の船団—線刻画木製品の絵解き— 中村 弘(当館学芸課長)	※切 11/20
12/19土	高句麗の積石塚(中国・集安地域) 和田晴吾(当館館長)	※切 12/4
1/16土	高句麗の壁画古墳(北朝鮮地域) 和田晴吾(当館館長)	※切 1/1
1/30土	黒曜石とサヌカイト 藤田 淳(兵庫陶芸美術館所長補佐)	※切 1/15
2/13土	古代中国の金属器を見る—古代鏡展示館の新展示から— 長濱誠司(加西分館事業課長)	※切 1/29
2/27土	墳丘墓からみた弥生と古墳の間—内場山墳丘墓を中心に— 中川 渉((公財)兵庫県まちづくり技術センター次長)	※切 2/12
3/13土	平野における地形の変化と土地利用 山田清朝((公財)兵庫県まちづくり技術センター副課長)	※切 2/26



ひょうごこうこはく

公式Facebook はじめました

当館で開催するイベントなど、最新情報をお知らせします。ぜひご覧ください。



Facebook



ひょうごこうこはく
チャンネル

YouTubeで動画も配信中です。
こちらもお楽しみに!

体験講座 要予約

各回とも申込期間は2ヶ月前～7週間前まで
(多数の場合は抽選)

⑫ 11/15日	古代の織物に挑戦!	※切 9/27
時間	10:00～15:00	定員 5名 料金 800円 対象 高校生～
⑬ 11/21土	「天下布武」のメダルづくり	※切 10/3
時間	13:30～15:30	定員 20名 料金 1000円 対象 小学生～
⑭ 11/22日	大中遺跡をめぐる(土器炊飯の試食)	※切 10/4
時間	10:00～12:00	定員 8名 料金 200円 対象 高校生～
⑮ 11/29日	古代の技に学ぶかごづくり(天然素材)	※切 10/11
時間	10:00～12:00	定員 6名 料金 800円 対象 高校生～
⑯ 12/13日	琥珀のまが玉づくり	※切 10/25
時間	10:00～15:00	定員 8名 料金 1000円 対象 高校生～
⑰ 1/31日	実測講座	※切 12/13
時間	10:00～12:00	定員 4名 料金 200円 対象 高校生～
⑱ 2/7日	漢委奴国王の印づくり(1)	※切 12/20
時間	10:00～12:00	定員 5名 料金 1000円 対象 高校生～
⑲ 2/7日	漢委奴国王の印づくり(2)	※切 12/20
時間	13:30～15:30	定員 5名 料金 1000円 対象 高校生～
⑳ 2/21日	キラリ! ガラスアクセサリー(魚形)づくり	※切 1/3
時間	10:00～15:00	定員 8名 料金 1000円 対象 高校生～
㉑ 2/28日	組み方いろいろ組みひもづくり	※切 1/10
時間	10:00～12:00	定員 5名 料金 800円 対象 高校生～

講演会・体験講座 申し込み方法 オンラインまたは往復はがきで予約 ▶ 抽選 ▶ 結果送付

▶ オンラインで申し込む・・・当館ホームページ「講演会・体験講座 申込み」より予約

▶ 往復はがきで申し込む

講演会に申し込む場合 以下の①～④を記入してください

- ①開催日・講演会名 ※1枚につき1講演のみ
- ②氏名・年齢(1枚につき1名) ③住所
- ④電話番号(当日連絡のつく番号)

※抽選結果は実施日の
10日前までにご連絡
いたします

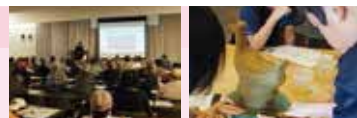
送付先(往信) 675-0142 加古郡播磨町大中1-1-1
兵庫県立考古博物館 学芸課

体験講座に申し込む場合 以下の①～④を記入してください

- ①開催日・講座名 ※1枚につき1講座のみ
- ②氏名・年齢(全員分4名まで) ③代表者住所
- ④電話番号(当日連絡のつく番号)

※抽選結果は実施日の
6週間前までにご連絡
いたします

送付先(往信) 675-0142 加古郡播磨町大中1-1-1
兵庫県立考古博物館 学習支援課



その他のイベント

1/2土	考古博 DE お正月 新春のあそびを用意しています。[一部観覧券要] 時間 13:30～15:30 問合せ TEL 079-437-5562(学芸課)
3/7日	発掘調査速報会 (公財)兵庫県まちづくり技術センターの調査担当者が最新の発掘成果を速報 時間 13:30～16:00 問合せ TEL 079-437-5561(まちづくり技術センター/月～金曜)

■感染症状況や天候等によりやむを得ず予定を変更させていただく場合がございます。
■各イベントの詳細情報は当館ホームページやチラシでご確認ください。



兵庫県立考古博物館 加西分館
Hyogo Prefectural Museum of Ancient Bronze Mirrors

加西分館からのお知らせ

古代鏡展示館では、より多くの作品をご覧いただけるよう展示施設の増築工事を行っているところですが、それに伴いまして、9月23日(水)から、令和3年春まで休館させていただきます。
ご不便等をおかけいたしますが、ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

加西市豊倉町飯森1282-1(県立フラワーセンター内) TEL 0790-47-2212

兵庫県立考古博物館NEWS vol.26 2020 Autumn-Winter

発行年月日 令和2年9月15日

編集・発行 兵庫県立考古博物館
〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1
TEL.079-437-5589
FAX.079-437-5599
http://www.hyogo-koukohaku.jp

- 電車をご利用の方/JR土山駅南口から「であいのみち」を徒歩15分
山陽電車播磨町駅から喜瀬川沿いを徒歩25分
- お車をご利用の方/第2神明・加古川バイパス明石西I.C.から約3km
※博物館に駐車場はありません。できるだけ公共交通機関をご利用ください。
周辺には播磨町大中遺跡公園駐車場(64台/有料)と播磨町野添であい公園
駐車場(50台/有料)があります。
- 休館日/月曜日(祝休日の場合は翌平日)



触れる・体感する、考古学のワンダーランド
兵庫県立考古博物館

